

第22回沖縄地方交通審議会船員部会 議事録

日 時 平成22年7月23日（金）14時00分

場 所 沖縄総合事務局 5F 「海技試験室」

出席者

公益委員	大城部会長、儀部委員、春田委員、上江洲委員
労働者委員	澤井委員、勘場委員、永山委員
使用者委員	山城委員、大城委員、（前城委員欠席）
事務局	伊志嶺船舶船員課長、島袋課長補佐、伊佐海事振興調整官、島袋首席運航労務監理官、本田労政係員、平良職業安定係員

議事次第

○開会

○議事

1. 第21回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等について
3. 平成22年度船員最低賃金の諮問状況について
4. 意見交換

○閉会

議事概要

事務局

それでは、定刻でございますので、会議を始めさせて頂きます。

本日は、使用者委員の前城委員が所用のために欠席されておりますが、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たしており、有効に成立していることをご報告いたします。

それでは、本日配布しております資料の確認をさせて頂きます。

(配付資料の確認)

よろしいでしょうか。

それでは、大城部会長、宜しくお願ひいたします。

大城部会長

それでは、はじめに第21回船員部会の議事録の承認についてお諮りします。お手元に配布されております議事録をご検討ください。しばらく休会といたします。

(休 会)

大城部会長

それでは再開いたします。第21回船員部会議事録を原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

(異議無し)

大城部会長

それでは異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議題2の「管内の雇用状況等」について事務局からご説明をお願いします。

平良職業安定係

平成22年6月分の管内雇用等状況の概要について報告いたします。1頁の「船員職業紹介実績等一覧表」をご覧下さい。

●求人状況について

新規求人数は、2名でございました。前月の2名と比べますと増減はございません。また、前年同月の1名と比べますと、1名の増加となっています。

月間有効求人数につきましては、5名（商船等4名・漁船1名）でございました。前月の5名と比べますと増減はございませんでした。また前年同月と比べますと6名となっており、1名の減少となっております。

月末未済求人数は1名でございました。

●求職状況について

新規求職数につきましては12名でございました。前月の10名と比べますと2名の増加となっています。また前年同月の15名と比べますと3名の減少となっております。

月間有効求職数につきましては33名でございました。前月の27名と比べますと6名の増加となっています。また、前年同月の50名と比べますと17名の減少となっています。

月末未済求職数は25名でございました。

●成立状況について

成立について、ご説明させていただきます。成立状況ですが、6月の成立はございませんでした。前月の0名と比べますと増減はございませんでした。

●求人倍率について

6月の月間有効求人倍率は、月間有効求人数5に対し、月間有効求職者数が33ということですから、0.15倍でございました。前月の0.19倍より0.04ポイントの減少となっております。また、前年同月の0.12倍とくらべますと0.03ポイントの増加となっております。

続きまして2頁をご覧下さい。上の表はただいまご説明申し上げました「新規求人数」と「新規求職数」の詳細ですので、説明を省略させていただきます。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

6月分の新規求職者12名の内訳につきましては一旦退職し、再就職したいということでお職票を提出された方が8名ございました。退職の理由としては、船舶所有者都合が3名、定年退職が1名、雇用期間満了が1名、自己都合が3名でございます。それから、現在乗船中ではありますが、別の会社へ転職を希望されている方が2名、陸上勤務をしておりますが海上勤務を希望されている方が2名となっております。退職者又は転職希望者の会社所在地につきましては、管内が7名、管外が5名となっています。

3頁と4頁は先程説明しました月間有効求人数、月間有効求職数、本月成立数、月末未済求人数及び月末未済求職数の詳細ですので説明を省略させていただきます。次に5頁をご覧下さい。

●失業保険金等支給内訳について

失業保険金につきまして初回受給者は4名でございました。受給者実人員は7名、支給延件数は9件で、6月分の支給金額は、1,213,416円でございました。
再就職手当はございませんでした。

就業手当は1件で、支給金額は154,180円でございました。

高年齢求職者給付金は1件で、支給金額は283,050円でございました。

以上でございます。

大城部会長

ありがとうございました。只今のご説明につきまして、何か質問等ございますでしょうか。

月間有効求人倍率なんですが、前月及び前々月を見ますと前年度と比較して大分違いますね。就職状況は、相当厳しいのでしょうか。

澤井委員

あまり良くない状況で、特にタンカー等は、船の数を減らしています。フェリー旅客船等は、高速道路の影響もあり船を減らしていますので離職者も相当数増えています。

春田委員

6ページ目「月間有効求職状況」で28番の方の希望賃金が62万円とありますが、相場なのでしょうか。

澤井委員

航行区域が近海区域なので外航船の機関長を希望しているのであれば相場と思われます。

それでは、事務局から1件、報告事項がございます。報告事項について事務局からお願いします。

大城部会長

それでは、事務局から1件報告させていただきます。

伊志嶺船舶船員課長

船員の最低賃金の改正に関する諮問について、今年の沖縄県内における春闘の賃金改定については、6月30日現在、組織船員で妥結が8社ありますが、いずれも定期昇給のみで、ベースアップは、ゼロ回答となっております。

県内の消費者物価指数（生鮮食品を除く場合）は、平成17年を指数100として、平成22年4月の指数100.7となり、前年同月比で1.3%下落しています。このような理由から「内航鋼船運航業及び木船運航業」、「海上旅客運送業」の最低賃金の諮問については、行わないことになりましたので報告とさせていただきます。

大城部会長

ありがとうございました。只今のご説明につきまして、何か質問等ございますでしょうか。

全国的には、どの様な状況なのでしょうか。

澤井委員

その地域の最低賃金の絡みもありまして、漁船部門で諮問する地域もあるかもしれません。

大城部会長

他に何かございますか。それでは「意見交換」に移りますが、どなたかなにかかりますか。

（伊佐海事振興調整官から「サウジアラビア王国との共同プロジェクト」について情報提供）

大城部会長

他に何かございますか。

澤井委員

この件について、石油基地に一度入れた油を日本国内で二次輸送した場合、当然カボタージュ規制にかかるので国土交通省海事局外航課に問い合わせを行いました。外航課からの説明によると一度、沖縄の石油基地に油を入れて国内で仮に運ぶ場合、V L C C（30万トン級タンカー）を利用するのですが、日本国籍船のV L C Cが無いので、もし申請があった場合には、特例で認める可能性が高いでしょうという話でした。全日本海員組合としては、外国船ではなく、どちらにしても日本船社が所有している船なので日本国籍に切り替えて運べば可能なんですが経費面、船員を外国人から日本人に乗せ替えなど実際には不可能なんでしょうけど、こちら側の立場としては、反対の主張でいます。

上江洲委員

緊急時には、優先的にと記事には書いてありますが、日本国内に輸送することを前提とした備蓄なんですか。

澤井委員

緊急時ではない場合でも国内に運ぶこともある様です。

大城部会長

他に何かございますか。よろしいですか。

それでは本日の部会はこれで終了します。次回、8月の部会は27日、金曜日の午後2時00分から開催いたしますのでよろしくお願ひします。最後に事務局からお願ひします。

事務局

澤井委員につきましては、全日本海員組合の内部異動により免職となります。最後にご挨拶をお願いします。

(澤井委員 挨拶)

事務局の平良係員も任期満了により退職となります。ご挨拶をお願いします。

(平良職業安定係員 挨拶)

事務局

次回は5F「海技試験室」で開催いたします。本日は、大変お忙しい中でのご出席ありがとうございました。次回の部会もどうぞよろしくお願ひいたします。

(配布資料)

1. 第21回船員部会の議事録
2. 船員職業紹介実績等一覧表（6月分）
3. サウジアラビア王国との共同プロジェクトについて